

## ディボーション質問表



### 5日(月) ピリピ人への手紙 2:1~11 「飼葉おけと十字架」

1. イエス様を信じている私たちに、すでに与えられているものが1節に書かれています。これらの内容を思い巡らしてみましょう。どのような思いがするのでしょうか？
2. 1節で与えられている恵みを土台として、2~5節ではどのような生き方をすることが期待されているのでしょうか？
3. 神であられる方が仕えるものの姿をとり、人間になり、死にまで従い、十字架に架かることがどうしてできたのでしょうか？ 黙想してみましょう(6~11節)。

### 6日(火) ヨハネの福音書 1:1~13 「闇に輝く光」

1. 神の「ことば」とは、何ですか？ 神の「ことば」は、何をもたらしましたか(1~6節)？ また、まことの光とはどのような光でしょうか？
2. 何について、ヨハネはあかししていますか？ ことば(光)を受け入れない人々とは、誰のことですか？ どうして彼らはこの方を受け入れなかったのでしょうか(7~11節)？

### 7日(水) ヨハネの福音書 1:14~18 「肉体となったことば」

1. ことばはなぜ人(肉体)となられたのでしょうか？ この方はどのような方でしょう。この事を思う時どのような気持ちになりますか？
2. 人となられたイエス様は何を私たちに与えて下さるのでしょうか？ その事は私たちの生活にどのような変化をもたらしていますか？

### 8日(木) ヨハネの福音書 1:19~34 「呼ばれる声」

1. バプテスマのヨハネにとってのイエス様が、誰であるかについて発見してください。彼がイエス様の人生の終わりを知らなかったとしても、イエス様をメシアとして知ることができたのはなぜでしょうか？
2. バプテスマのヨハネは「あなたはどなたですか？」(19節)と尋ねられた時にどう答えていますか？ 彼はなぜそう答える事が出来たのでしょうか？
3. 私たちがしっかり見るように言われている「世の罪を取り除く神の小羊」(29節)とはどういう意味でしょうか？ その為に、イエス様は何をしてくださいましたか？
4. バプテスマのヨハネは自分の働きを「主の道をまっすぐにせよ。と荒野で叫んでいる者の声」だと説明していますが、それは具体的にはどのような働きを指しているのでしょうか？

### 9日(金) ヨハネの福音書 1:35~51 「指し示す指」

1. イエス様の後を追うバプテスマのヨハネの2人の弟子は、アンデレとこの福音書の著者、ヨハネです。ヨハネはイエス様の最も親しい弟子ですし、アンデレは偉大な伝道者です。彼らはイエスがメシア(神の小羊)であると聞いた時、何をしましたでしょうか(35~40節)？
2. イエス様は更に二人の弟子を招きます。それは誰でしょう。彼らを招いた方法についてヨハネやアンデレ、ペテロの場合と比べてみましょう(43~51節)。

### 10日(土) ヨハネの福音書 1:1~51 (今週のまとめ)

1. それぞれの段落(1~5、6~8、9~13、14~18、19~28、29~34、35~42、43~51節)ごとによく出てくる言葉を探してみましょう。よく出てくる言葉を参考にして、各段落に小見出しをつけてみましょう(ことば、光、恵み、この方、信じる、見るなど)。
2. 上の作業で付けた小見出しを参考にして、一章全体がどのようなつながりを持っているかを観察してみましょう。そして大見出しを付けてみましょう。